

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】

(2004年9月1日～

2004年10月13日分)

Virgin、5GB HDD 搭載の携帯音楽プレーヤーを発表

Virgin Group の家電部門 Virgin Electronics は、HDD 搭載のデジタル音楽プレーヤー「Virgin Electronics Player 5GB」を発表した。

この「Virgin Player」は、音楽フォーマットは MP3 と WMA に対応、容量は 5GB で MP3 ファイル 1200 曲 (WMA の場合 2400 曲) を保存できるとしている。

ボリューム調節、スキップ、ポーズそれぞれに別のボタンが用意されており、プレイリスト作成機能も搭載している。

Virgin は 2004 年 9 月より音楽配信サービスを開始しており、「Virgin Player」にはこのサービスと連携できるよう、デスクトップの音楽管理ソフト「Virgin Digital」をバンドル、楽曲購入のほか、CD からの楽曲保存やライブラリの同期化に利用できる。

同社はさらに、この製品に対応するポータブルスピーカーの新シリーズも発表している。

(10/13)

米 Microsoft、有料音楽配信サービス「MSN Music」正式開始

米 Microsoft は、「Windows XP Media Center Edition 2005」を発表する一方、これと“統合”した形で提供される音楽ダウンロード販売サービス「MSN Music」を正式に開始すると発表した。

MSN Music は、プレビュー版で公開されていた米国を含む 9 カ国でサービスが開始された。10 月未までには新たに 8 カ国を加え、主に欧州市場を含む合計 17 カ国でサービスが展開される。

MSN Music は Windows Media Player 10 に統合され、さらに Windows Media Player 10 は Windows XP Media Center Edition 2005 と統合される形になる。

また、Windows Media Player 10 でオンラインの音楽・ビデオストアを紹介する「Digital Media Mall」の拡大も発表、MSN Music に加え、新たに 30 種類のオンライン音楽 / ビデオストアが Windows Media

Player 10 から直接アクセスできるようになっている。

ユーザーが Windows Media Player 10 に対応した製品やサービスを選びやすくする目的で、新たに「PlaysForSure」のロゴを導入。Dell、HP、Rio などのメーカーや Musicmatch、MusicNow、Napster などの音楽サービス、Tower Records といった小売店がこのロゴを採用する。

(10/13)

Microsoft、Windows XP Media Center Edition 2005 を正式発表

Microsoft は、AV 機能を強化した新 OS「Windows XP Media Center Edition 2005 (MCE 2005)」を発表した。

MCE は TV の視聴/録画、音楽の再生、DVD の作成などを統一されたインターフェイスで実行できる Windows XP ベースの OS、リモコン操作で TV や音楽、ビデオなどのメディアを簡単に扱えるのが特徴。

新バージョンの MCE 2005 では、3 系統のテレビチューナー入力に対応したほか、米国の HDTV への対応も図られている。また、Windows Media Player 10 を搭載し、DVD ライティング機能の追加などの機能強化も行なわれている。

MCE 2005 と組み合わせ、MCE PC 上の音声/映像コンテンツなどをネットワーク経由でテレビなどに出力できる「Windows XP MCE Extenders(MCX)」も発表。HP が「Media Center Extender x5400」を発売する。

MCX や既発売の Windows PMC など、MCE と連携して利用できる製品について Microsoft では相互接続性を認める“playforsure”ロゴを策定。関連製品の消費者への訴求を図っていく。

(10/13)

有線ブロード、光ファイバサービス取付数、19 万件を突破

有線ブロードネットワークは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2004 年 9 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が前月比 13,254 増の 313,395 件、回線が開通している取付数が前月比 10,015 増の 192,770 件とな

た。取付数が 2 ヶ月連続で毎月 1 万件を越えた。

なお、取付数の内訳では、戸建てが前月比 12 減の 8,531 件、集合住宅が前月比 9,194 増の 170,002 件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比 833 増の 14,237 件となっている。

同様に、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 4.79 (集合住宅 6.27、法人用途のオフィス・商業ビル 1.25)、集合住宅取付棟数は前月比 1,251 増の 38,475 (集合住宅 27,129、法人用途のオフィス・商業ビル 11,346) となっている。

(10/8)

米 AT & T Wireless、携帯電話機を使った音楽配信サービスを開始

米 AT & T Wireless Services, Inc. は、携帯電話機を使って約 75 万曲の音楽データを購入できる音楽配信サービス「AT & T Wireless mMode Music Store」を発表した。

ユーザーは、携帯電話機を使って好みの楽曲の選択と購入手続きを行う。決済済みの音楽データ自体は、携帯電話網ではなくブロードバンドなどを使ってパソコンにダウンロードする仕組み。

ダウンロードするファイル形式は WMA を採用。ストリーミング音声の再生と GSM (global system for mobile communication)、GPRS (general packet radio service) に対応した携帯電話機では、選択した楽曲をサンプルとして 30 秒間聴くことができる。

AT & T Wireless mMode Music Store は同社の音声認識技術を利用した検索サービス「Music ID」と連携している。

たまたま耳にした音楽を気に入ったユーザーは、その途中で通常電話をかけると同じように携帯電話網を通じてサーバに数十秒の音声を送る。するとサーバが音声認識を行って、楽曲名、アーティスト名、楽曲を購入するためのリンクなどの情報を含むテキスト・メッセージを消費者に送り返す。

価格設定は、1 曲当たり 0.99 米ドル、アルバムは 9.99 米ドル程度。課金は携帯電話の月額利用料に追加する形か、クレジットカードによる決済で行う。

(10/7)

ソニー、High Speed型メモリスティックPROの発売を来年に延期

ソニーは、2004年10月8日からの発売を予定していたHigh Speed型のメモリスティックPROおよびメモリスティックPRO Duoの発売を、2005年2月10日延期すると発表した。

メモリスティックPRO(High Speed)は、256/512MBおよび1GB、2GBの4種、メモリスティックPRO Duo(High Speed)は256/512MBおよび1GBの3種の製品が予定されているが、すべての製品が2005年2月10日発売となる。

延期の理由は、従来のメモリスティック対応機器との動作確認に時間を要するためとしている。

(10/7)

ドコモ、国際線機内で「Mzone」のローミングサービス

NTTドコモとボーイングのビジネス部門「コネクション・バイ・ボーイング」は、国際線の機内において、ドコモの公衆無線LANサービス「Mzone」のローミングサービスを2004年10月22日から提供すると発表した。

コネクション・バイ・ボーイングでは、飛行機内でのインターネット接続サービス「Connexion by Boeing」を提供している。ドコモの「Mzone」はこのサービスとローミングし、空の上での公衆無線LANサービスを実現する。

利用料金は3時間未満のフライトで1,900円、3～6時間のフライトで2,500円、6時間以上のフライトで3,700円。いずれも飛行機内は課税対象外。

提供される路線は、ルフトハンザの成田-ミュンヘン間、ミュンヘン-サンフランシスコ間、ANAの成田-上海間、JALの成田-ロンドン間などの一部の便。対応路線は今後順次拡大される見込み。

(10/6)

月額210円から利用できる公衆無線LANサービス「Wireless Gate」

トリプレットゲートは、月額基本料金210円の公衆無線LANサービス「Wireless Gate」を2004年10月6日より開始すると発表した。

Wireless Gateは、公衆無線LANインフラを独自に構築せず、公衆無線LAN事業者との提携によってサービス展開する公衆無線LANのアグリゲーションサービス。Wireless Gateに加入することで、提携する複数の公衆無線LANサービスを同じIDやパスワードで利用可能になる。

月額料金は基本料金が210円で、追加して315円または399円を支払うことでアクセスポイントを2時間利用できる。料金支払いはクレジットカードのみ対応。アクセスポイントの料金は場所ごとに異なるが、同じ事業者のアクセスポイント間であれば同料金内で移動して利用することもできる。

携帯電話とも連動し、携帯電話向けのサイトから付近にあるWireless Gateのアクセスポイントを検索できる。対応機種はNTTドコモ、au、ボーダフォンで、それ以外の機種は動作対象外ではあるがブラウザ機能が搭載していれば閲覧が可能。

提携する公衆無線LAN事業者はNTTブロードバンドプラットフォーム(NTT-BP)の「公衆無線LAN倶楽部」、日本テレコム「モバイルポイント」、日本サステナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)の「みあこネット」の3サービス。サービス提供エリアは約500カ所、2004年度中には2,000カ所まで拡大予定としている。

Wireless Gate用のクライアントソフトも2004年度中に無料で提供予定。このクライアントソフトを利用することでIDやパスワードを利用ごとに設定することなくWireless Gateが利用可能になる。また、アスキーと提携し、Webニュースやデジタル用語辞典などを配信するクライアントソフトも提供する。

(10/6)

クリエイティブ、WMA/MP3プレーヤーのスポーツモデル発表

クリエイティブメディアは、スポーツタイプのオーディオプレーヤー「MuVo SPORT C100 256MB」を2004年10月下旬に発売すると発表した。

MuVo SPORT C100はスポーツシーンでの使用を想定した、FMチューナー搭載のMP3/WMAプレーヤー。内蔵メモリは256MBで、512MBまで対応するSD/MMCスロットも搭載している。

対応音声圧縮形式はMP3とWMA、DRM付きWMAファイルにも対応する。

PCとのインターフェイスはUSB 2.0、USBマストレージクラスに対応し、ドラッグ&ドロップでオーディオファイルを転送可能。

液晶は約1.3インチのELバックライト付きで、解像度は96×64ドット。ファイル名、ID3タグの日本語表示も可能。

電源は単4乾電池1本で、連続再生時間はMP3が約18時間、WMAが約13時間、FMが約15時間。パラメトリックイコライザーも装備し、プリセット×4(ROCK、JAZZ、CLASSICAL、POP)、カスタム×1(4バンド)が用意されている。

また、ラップ/スプリットタイム計測付きストップウォッチ機能と、タイマー機能も装備。音楽やFMラジオを中断することなく、タイムを計測できる。さらに、タイマーで設定した時間をカウントダウンし終わるとアラーム音が再生される。

S/N比は90dB、周波数特性は20Hz～20kHz。外形寸法は約61.2×22.5×80.6mm(幅×奥行き×高さ)、重量は54g(本体のみ)。ネックストラップや、ケース付きアームバンドが付属する。

付属ソフトは、CDリッピングやミュージックライブラリの管理、ファイルの転送ができる「Creative MediaSource」と、Windows エクスプローラでDRM付きWMAファイルの転送などが行える「MuVoメディアエクスプローラー」。

価格はオープン。

(10/6)

リアルネットワークス、「RealPlayer 10 for Mac」日本語版リリース

リアルネットワークスは、メディアプレーヤー「RealPlayer 10 for Mac」日本語版を公開した。Mac OS X 10.3以降に対応し、同社Webサイトより無料でダウンロードできる。

RealPlayer 10 for Macは、Real、Windows Media、QuickTime、MPEG、MP3など、Web上で利用される主要フォーマットを再生可能なメディアプレーヤー。

RealPlayer 10 for Macでは、LivePauseやPerfectPlayなどの新機能により、ライブストリームの一時停止、ライブストリームおよびオンデマンドストリームの早送りや巻き戻しも可能になった。さらに新し

いコーデックの Real Video/Audio 10 をサポートすることによって、低帯域においても音声・画像品質が向上したという。

また、新設計のジュークボックスにより、楽曲の編集や再生、CD やポータブルプレーヤーへの転送が容易になったとしている。iPod をはじめ、Creative Labs、Rio など 70 機種以上のポータブルプレーヤーに対応する。

ただし、HARMONY 技術は搭載されていないため、DRM 経由で購入した楽曲についてはポータブルプレーヤー等への転送ができない。

ちなみに、Macintosh 用の RealPlayer としては、1997 年発表の RealPlayer 5 以来 7 年ぶりの日本語版となる。

(10/6)

オリコン、有料音楽配信サービスを 2005 年に開始

オリコンは、有料音楽配信を目的とした 100% 子会社、オリコン・デジタル・ディストリビューション(オリコン DD) を設立したと発表した。

ファイル形式は WMA、DRM は Windows Media Rights Management (WMRM) を採用。購入した楽曲は、WMRM に対応したポータブルオーディオプレーヤーに 3 回まで転送可能。

音楽配信サイトとしての最大の特徴は、「オリコンチャート」と連動した楽曲配信サービスを展開すること。また、過去のランキングデータを活用し、「思い出の楽曲」も販売するという。

2004 年 12 月に試験サービスを開始し、正式サービスは 2005 年 1 月から実施予定。

なお、2005 年 1 月の正式サービス開始時には、同社の Web サイトと、新聞社系情報サイトでサービスを提供。オリコン DD は各レコード会社やレーベルより、楽曲の DRM 化、音楽配信、顧客サポート・管理などの業務委託を受け、手数料を売上計上する。

また、ポータブル・デジタル・オーディオ・プレーヤーなどのハードウェアの販売も予定しており、最終的に業務委託手数料、ハードの売上、Web サイトでの広告収入が売上の 3 本柱になるとしている。

参加予定のレコード会社は、ユニバーサルミュージック、東芝 EMI、エイベックス、BMG ファンハウス、ワーナーミュージックジャパンなど十数社。

同サービスのシステム構築や DRM 処理などについては、J ストリームに一部業務委託するとしている。

(10/6)

ソニー、松下など 7 社、DRM の互換性確立に向けてコンソーシアム

ソニー、松下電器産業、Samsung Electronics など 7 社が 4 日、デジタル著作権管理 (DRM) 技術の互換性を推進する団体「Coral Consortium」を設立したと発表した。

設立メンバーは上記 3 社のほか、HP、Intertrust Technologies、Koninklijke Philips Electronics、Twentieth Century Fox Film。

DRM 技術の種類にかかわらずデジタル音楽やビデオを楽しめる共通フレームワークの確立を目指す。

具体的には、DRM そのものの仕様を規定するのではなく、異なる DRM 同士で互換性を保つための仕様セットを策定する。その結果、ユーザーはフォーマットや DRM の相違を気にすることなく、デバイスのプレイボタンを押すだけで適切なフォーマットのコンテンツを再生できるようになるという。

Web やホームネットワークに対応したデバイスやサービスで安全にコンテンツを流通するための仕様も提供する予定。

(10/5)

NTT ドコモ、音楽プレーヤー内蔵携帯「Music PORTER」を発表

NTT ドコモは、フラッシュメモリによる音楽プレーヤーを内蔵したムーバ端末「Music PORTER」を 2004 年度下半期に発売すると発表した。

Music PORTER は三菱電機製。メモリスティック Duo に保存した音楽ファイルを再生できるプレーヤー機能に加え、FM ラジオチューナーも内蔵している。

音楽やラジオを聞きながらメール送受信や i モード利用が可能だ。通話着信時はリモコンを使い、ワンタッチで応答 / 終話できる。

外形寸法は 76mm (高さ) × 59mm (幅) × 25mm (厚さ) (アンテナ部を含む)、重量は約 100g。カラーリングは RED / WHITE / BLACK の 3 色。

音楽を聴くために必要な付属品はすべて同梱したオールインワンパッケージで販売。付属 USB リーダー / ライターで PC と接続すれば、メモリスティックリーダー / ライターとしても使用できる。

(10/4)

ソフトバンク BB、1Gbps の光ファイバサービス「Yahoo! BB 光」を発表

ソフトバンク BB は、FTTH サービス「Yahoo! BB 光」の申し込み受け付けを 2004 年 10 月 5 日に開始すると発表した。

NTT 局舎からのアクセスラインは最大 1Gbps で、最大 32 ユーザーで共有する「GE-PON」方式を採用。1 ユーザー当たりの接続速度は上り / 下りとも最大 100Mbps。

サービスは戸建向けの「Yahoo! BB 光 ホーム」、集合住宅向けの「Yahoo! BB 光 マンション」で、マンションは VDSL を利用した「タイプ V」、イサネットを利用した「タイプ E」の 2 種類が用意される。

初期費用は Yahoo! BB 光 ホームの場合、光回線設置事務費用が 2,100 円で、標準工事費用はソフトバンク BB が負担するため無料。標準外工事費用は別途見積りありで、休日工事追加費用は 21,000 円が必要になる。Yahoo! BB 光 マンションの初期費用は手数料が 5,250 円、基本工事費が 15,750 円。

月額基本料金は Yahoo! BB 光 ホームタイプが機器レンタル料 (光 BB ユニット) を含み 7,234 円で、BB フォンを併用する場合は 7,633 円。Yahoo! BB 光 マンションタイプは契約者数で異なり、8 ~ 15 戸加入の場合は 3,885 円、16 戸以上加入の場合は 3,675 円。このほか機器レンタル料がタイプごとに異なり、タイプ V で 840 円、タイプ E で 420 円が必要になる。

マンションタイプの場合、タイプ V では BB フォンが標準サービスのため光 BB ユニットのレンタル料が標準で必要になる。タイプ E の場合は BB フォンがオプションサービスのため、BB フォンを利用する場合のみ光 BB ユニットのレンタル料。

光 BB ユニットは 10BASE-T/100BASE-TX × 4

ポートの LAN インターフェイスを搭載したルータで、ONU に接続して利用する。IEEE 802.11g の無線 LAN カードを装着することで無線 LAN ルータとしても機能するほか、光 BB ユニットに接続した端末のセキュリティ対策機能も搭載する。

なお、Yahoo! BB 光 ホームでは 12 カ月間の、Yahoo! BB 光 マンションでは 6 カ月間の最低利用期間が定められており、期間内に解約した場合は最低利用期間満了までの料金が課金される。また、Yahoo! BB 光 ホームの場合は工事完了から課金開始前日までに解約した場合、ソフトバンク BB 負担分の標準工事費 32,000 円と事務費用 2,100 円がユーザー負担となる。

サービスの申し込みは 2004 年 10 月 5 日より新規ユーザーを対象に政令指定都市の NTT 収容局舎約 300 局で受け付ける。Yahoo! BB の既存ユーザーの申し込みは 2004 年 12 月 1 日より受け付け、2005 年 1 月には全国約 1,500 局にエリアを拡大する。キャンペーンも行なわれ、Yahoo! BB 光 ホームでは初期費用 2,100 円と月額料金最大 2 カ月間が無料になる。

(10/4)

松下、非接触 IC 搭載の SD メモリーカード「smartSD」開発

松下電器産業は、非接触通信が可能な IC カード機能を搭載した SD メモリーカードの新シリーズ「smartSD」を開発したと発表した。

smartSD は、MOPASS コンソシアムの仕様に基づき、非接触 IC カード機能を搭載した SD メモリーカード。

非接触 IC 部分には、従来の EEPROM よりも高速処理が可能な不揮発性のメモリ「FeRAM」を採用し高速書き込みに対応。これにより、交通機関のゲートなどで対応できるという。

カードサイズは SD カードと同じで、miniSD カード版もラインナップ。ただし、miniSD カードタイプには非接触 IC 用のアンテナが内蔵されないため、装着する機器側にアンテナが搭載されている必要がある。

非接触通信インターフェイスは、ISO/IEC14443 TypeB と JICSA2.0 をサポート。メモリ内の一部の領域を IC カードの鍵によって暗号化することでセキュリティを確保し、音楽やコンテンツや大容量のアプリケーションをセキュアな状態でメモリーカードに保存で

きる。

(10/1)

総務省、8 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2004 年 8 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。それによるといわゆるブロードバンドユーザーの合計数は、前月から約 34 万 5,994 増の 1,691 万 8,498 人となった。

内訳としては、CATV インターネットが 276.8 万人、DSL が 12,549,066 人、FTTH が 1,601,432 人となっている。

一方、ダイヤルアップ型の加入者数は約 1,862 万人。

(9/30)

SME、「レーベルゲート CD」を終了へ

ソニー・ミュージックエンターテインメント (SME) は、2003 年 1 月より導入してきたネットワーク認証型コピーコントロール CD「レーベルゲート CD」での音楽タイトルリリースを終了すると発表した。

同社の 2004 年 10 月発売タイトルの一部から段階的に終了し、2004 年 11 月 17 日以降に発売する新譜からは全て通常の CD として発売する。

レーベルゲート CD はネットワーク認証など独自の著作権保護機能を付加したコピーコントロール CD。

SME では 2003 年 1 月よりレーベルゲート CD 仕様でのリリースを行っており、同 10 月には専用プレーヤーソフトを利用することで、パソコン上での再生に対応した「レーベルゲート CD2」にアップデートしていた。

終了の理由については、「導入前に比べ、著作権保護に対して、多くの音楽ユーザーの意識が高まり、一時的混乱期を脱したと判断されるとともに、法的環境の整備も進んできたため」と説明している。

今後も著作権保護に対する啓もう活動を積極的に進めるとともに、著作権隣接権侵害行為などについては「これまで以上に断固たる姿勢」で監視・警告・法的措置をとるともコメントしている。

(9/30)

ソニー、HDD ネットワークウォークマンの低価格モデルを発表

ソニーは、20GB の HDD を搭載したネットワークウォークマンの低価格モデル「NW-HD2」を 2004 年 10 月 10 日に発売すると発表した。価格はオープン。

NW-HD2 は、2004 年 7 月 10 日に発売された「NW-HD1」から、リモコンと USB クレドールを省いた低価格モデル。

本体の仕様は NW-HD1 と同じ。対応オーディオフォーマットは ATRAC3/ATRAC3plus で、対応ビットレートは ATRAC3plus が 48/64/256kbps、ATRAC3 が 66/105/132kbps。

筐体の素材にマグネシウム合金を採用。1.8 インチの 20GB HDD を内蔵し、外形寸法は 89 × 13.8 × 62.1mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 110g。カラーリングはシルバー、ブルー、ピンクの 3 色。

HDD に重加速度センサー「G センサー」機構を搭載。本体の落下を検知すると即座に、記録ヘッドを退避し、HDD の損傷を防ぐ。また、HDD を包み物理的な衝撃を和らげる「対衝撃ダンパー」も備えている。

本体のカラーリングと合わせて、液晶のバックライトも NW-HD1 のグリーンからブルーに変わっている。

省かれた USB クレドールの代わりに、USB ケーブルと AC アダプタを接続するための変換アダプタを同梱。急速充電に対応しており、1 時間で約 80%、3 時間でフル充電が可能となっている。

また、リモコンは同社のポータブル MD/CD プレーヤーや、NW-HD1 などに付属するものを別途購入し、使用することができる。

データ転送は付属の「SonicStage Ver.2.1」を使用。変換アダプタに加え、USB ケーブルや AC アダプタ、キャリングポーチも同梱している。

(9/29)

マイクロソフト、「Windows CE 5.0」の日本語版を発表

マイクロソフトは、PDA やモバイル機器向けの OS「Windows CE 5.0」の日本語版を提供すると発表した。

「Windows CE 5.0」は、PDA や組込機器向けの OS。新 OS では、ソースコードのアクセス権が拡張され、統合開発環境「Platform Builder」のシェアソースコードをマイクロソフトなどと共有することなく自社で保守できる。シェアコードは製品版のみならず評価キットでも参照可能。

また、60 以上のデバイスドライバのサンプルも提供され、ストリーミング再生を高速化する機能「Fast Start」、家電やパソコンと連携させる UPnP A/V プロファイルなどもサポートする。

このほか、T-Engine に搭載される標準リアルタイム OS「T-Kernel」と、Windows CE との協調動作を実現するための API なども実装されている。

(9/28)

松下、最大 20MB/s の転送速度を実現した SD メモリーカードを発表

松下電器産業は、最大 20MB/s の転送速度を実現した SD メモリーカード「PRO HIGH SPEED シリーズ」を発表した。

今回発売される SD カードは、同社独自技術によって、最大 20MB/s というデータ転送速度を実現したもので、1GB と 526MB と 2 種類がラインナップされる。

従来の SD カードの転送速度は、最大 10MB/s とになっており、約 2 倍性能が向上している。

なお、利用する際に 20MB/s の恩恵を受けるには、読み取り側も新技術に対応している必要がある。

付属するケースは、端子部分のゴミなどを取り払える「簡易ダストクリーニング機能」が用意され、オープン時にカードを取り出しやすい機構が採用されている。ラインナップは、1GB モデルの「RP-SDK01GJ1A」、512MB モデルの「RP-SDK512J1A」の 2 種類となっている。

発売は 2004 年 10 月 15 日より、価格はいずれもオープン。

(9/28)

沖電気、HDD オーディオ機能を 1 チップに収めた LSI を発表

沖電気工業は、ハードディスクドライブ(以下 HDD)搭載オーディオプレーヤーの主要構成機能をシングルチップで実現する、ARM946E-S コアのシステム LSI「ML696500 シリーズ」2 機種の開発に成功したと発表した。

ML696500 シリーズは、512KB の Flash ROM を内蔵している ML69Q6500 と、ROM を内蔵しない ML696500 の 2 機種から構成されている。

2 機種とも MP3、WMA などの音楽ファイルの再生、PC-HDD 間的高速データ転送を可能とする、HDD オーディオプレーヤー向けの LSI。

USB2.0 のハイスピードデバイスコントローラと、UltraDMA66 に対応した ATA/IDE コントローラを内蔵することにより、従来の USB1.1 フルスピードコントローラを用いた場合の実効データ転送速度 8Mbps に比べて 128Mbps と飛躍的に PC-HDD 間の転送速度を向上させている。

ヘッドフォンアンプ内蔵の DA コンバータ、マイクアンプ内蔵の AD コンバータなど、従来複数チップに分かれていたオーディオプレーヤー主要構成機能を 1 チップに内蔵させることにより、複雑なアナログ回路設計をシンプルにしている。

SDK(ソフトウェア・開発キット)として音楽ファイルの録音再生、HDD データのファイル管理などのソフトウェアも販売される。

サンプル価格は ML69Q6500 が 3,500 円、ML696500 が 3,000 円。2005 年 1 月から量産開始し、月 50 万個の出荷を目指すとしている。

(9/28)

東芝、カラー液晶と「プラスタッチ」搭載の新 gigabeat F シリーズを発表

東芝は、1.8 インチ HDD 内蔵オーディオプレーヤー「gigabeat」の新モデルを 2004 年 11 月下旬より順次発売すると発表した。

10GB 容量の「F10」、20GB 容量の「F20」、60GB 容量の「F60」3 モデルをラインナップ。カラーバリエーションとして、F10 はホワイト、アクアブルー、ロゼピンクの 3 色、F20 はシルバー、アクアブルー、ロゼピンクの 3 色を用意し、F60 はシルバーのみ。

gigabeat F シリーズは、2.2 型 240×320 ドット(32,768 色表示)の TFT カラー低温ポリシリコン液晶を搭載。操作系も + 型のタッチセンサー「プラスタッチ」を新採用したほか、液晶に連動したガイドが表示されるスタイルに一新された。

本体側面には電源ボタン、MENU ボタン、ボリュームボタンのほか、イコライズ設定など任意の機能を割り当てられる A ボタンを備える。

対応フォーマットは、従来と同じ WMA/MP3/WAV、対応ビットレートは 16kbps ~ 320kbps で、Windows Media DRM もサポートしている。

イコライズも従来の 28 種類に加え、ユーザー設定によるプリセットが追加されたほか、SRS WOW による 3D ヘッドホンサラウンド機能も搭載している。

バッテリー駆動時間は約 11 時間。PC との接続は USB 2.0 に対応し、USB 充電も可能。

接続には、USB クレードルも用意(F60 には標準で付属)され、クレードルにはラインアウト(ステレオミニ)、AC アダプタ接続端子も装備している。さらに、USB ホスト機能も備えており USB 無線 LAN や有線 LAN アダプタを接続することも可能。

また、クレードル正面には「Sync」ボタン、「RipRec」ボタンを搭載。Sync ボタンを押すと自動的に、PC と gigabeat 間の音楽データの同期を行ない、RipRec ボタンを押すと、パソコンで音楽 CD をリッピングして、それをエンコード、gigabeat への転送までワンタッチで行なう。

付属ソフトも新開発の「gigabeat room」に変更。従来のソフトは転送することだけに特化していたが、gigabeat room では、CD からのリッピング、エンコードなどがより直感的に使用できるようになっており、CDDDB にも対応している。

また、任意の画像をジャケット写真として登録し、gigabeat に転送してカラー液晶で表示することも可能となっている。なお、Windows DRM にて保護されているファイルを転送ことはできず、この場合には Windows Media Player を利用することになる。

本体サイズは F10/F20 は 63(幅)×16(高さ)×106(奥行き)、F60 は同 63×19×106 ミリ。F10/F20 はホワイトアルミ塗装のアルミボディ、F60 がホワイトパール塗装のアルミ筐体を採用し、重量は F10/F20 が 160g、F60 が 170g となっている。従来

付属していたストラップリモコンはオプションとなり、F60にのみワイヤードリモコンが付属する。

発売はF10/F20が2004年11月下旬、F60が2004年12月上旬となっている。価格はいずれもオープン。

なお、既に発売されているgigabeat Gシリーズにも、10GバイトのHDDを搭載した「gigabeat G10」が追加された。HDD容量以外は既存Gシリーズと同仕様で、カラーバリエーションはコスモブラックとパーニングレッド。2004年11月下旬発売で価格はオープン。

(9/27)

松下、音楽プレーヤー機能を搭載した薄型「D-Snap」

松下電器産業は、音楽プレーヤー機能を搭載しMPEG-4記録に対応した小型動画カメラ「D-snap」2機種を2004年10月30日より順次発売すると発表した。

SV-AS30は、SDメモリーカードを使った静止画/動画の撮影に加え、オーディオプレーヤー機能も搭載した小型動画カメラ。

ポータブルオーディオプレーヤーとしての機能は、AAC/WMA/MP3の音声フォーマットに対応。従来モデルでオーディオプレーヤーとして利用する場合には、別途ジュークボックスソフト「SD-Jukebox」を購入する必要があったが、SV-AS30では製品に「SD-Jukebox Version 4.1 LightEdition」がバンドルされる。

バッテリー駆動時間は18時間(音楽再生時)/約70分(MPEG-4連続撮影時)/約160分(MPEG-4連続再生時)/約140枚(JPEG撮影時)。外形寸法は51.5×9.9×14×103mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約58.5g(本体のみ)/75g(SDカード/バッテリー含む)。

SV-AS3は、SV-AS30の機能を踏襲しながら、オーディオプレーヤーとしての機能強化を図り、バッテリー容量を2倍に増やしたモデル。ボディカラーはシルバークラッシュ/ブルー(-A)/ライトブルー(-AA)/オレンジ(-D)の4モデルが用意される。

操作部では、ジョグボルの左右にボリュームボタンを装備し、オーディオプレーヤーとしての使い勝手向上を図っている。

バッテリー駆動時間は36時間(MP3再生時)/約140分(MPEG-4連続撮影時)/約300分(MPEG-4連続再生時)/約260枚(JPEG撮影時)。外形寸法は52.5×18.9×21.2×88.7mm(幅×奥行き×高さ)、重量は75.1g(本体のみ)/103.7g(SDカード/バッテリー含む)。

9.9mmの薄型モデル「SV-AS30」が2004年10月30日より発売、大容量バッテリーモデル「SV-AS3」が2004年11月27日より発売される。価格はともにオープンプライス。

(9/21)

NECエレクトロニクス、MP3やAACに対応した携帯電話向け音源LSIを発表

NECエレクトロニクスは、携帯電話用音源LSIとしては初めてMP3/AAC再生に対応した「μPD9993」のサンプル出荷を始めたこと発表した。

音源LSI単体でMP3/AACの再生が可能で、従来のように専用LSIを端末に搭載する必要がなくなる。音源LSIとして業界で初めて復号処理のためにDSPコアを搭載している。対応ビットレートはMP3が最大320Kbps、AACは最大128Kbps。

また、「ダイマジックの「アダプティブサウンド技術」も搭載し、2ch音声によるサウンド再生が可能となっている。

2004年11月の量産開始を計画しており、サンプル価格は1500円。

(9/21)

リアルネットワークス、「RealPlayer 10.5」日本語版リリース

リアルネットワークスは、全てのDRM対応の音楽デバイスへの購入楽曲の転送を可能にしたHarmonyテクノロジーを搭載した「RealPlayer 10.5」日本語版をリリースした。

Harmonyテクノロジーは、例えばリアルネットワークスのDRMシステムであるHelix DRMやWindows Media Technologyで購入した楽曲をiPodやその他のセキュアなポータブルデバイスに安全に転送し、再生可能とする技術。

対応するポータブルオーディオプレーヤーはiPod第4世代とiPod miniをはじめ、Creative社の14機

種、Rioの14機種、RCAの7機種、palmOneの9機種、iRiverの18機種、その他Dell、Gateway、Samsungなど70機種以上。

また、HarmonyはAppleのFairPlay DRM、MicrosoftのWindows Media Audio DRM、RealNetworksのHelix DRMを使った全てのデバイスをサポートしている。

なお、RealPlayer 10.5日本語版はRealPlayer 10日本語版と同様、Music Storeへのアクセスが音楽ライセンスの都合により制限されている。

さらに、他社サービスで購入したセキュアコンテンツの他のセキュアなポータブルデバイスへの安全な転送と再生は一部可能な場合があるが、同社では一切サポートしないとしている。

(9/21)

エイベックス、CCCDの運用弾力化を表明

エイベックスは同社が音楽CDに採用しているコピーコントロール機能「CCCD」について、弾力的な運用を行っていくことを発表した。

同社では2002年3月のCCCD導入を決定して以来、原則的に全ての音楽CDタイトルでCCCDを採用。CD-Extra採用ディスクなど、技術的にCCCDの導入が困難な場合を除いて、全てのタイトルをCCCDでリリースしてきた。

これに対し、2004年9月22日以降にリリースするCDから、コピーコントロール機能を施すか否かについて、商品ごとに弾力的に決定していくこととした。

同社では、今回の決定について「2002年より導入してきたCCCDでは、著作権の重要性を啓発し、カジュアルコピーを防ぐことを目的としていた。著作権の重要性がある程度認知されたほか、ファイル交換ソフト利用者の減少など、その取り組みが一定の成果を挙げることができたと判断したため」と説明している。

また、「iPodに代表されるようなHDDオーディオプレーヤーのさらなる普及を予想しており、新しい音楽の楽しみに対応することも理由のひとつ」としている。

さらに、2004年9月よりスーパーオーディオCD(SACD)やDVDオーディオの積極採用も予定。SACDではCDとのハイブリッドディスクを、DVDオー

ディオでは DVD ビデオとのハイブリッド仕様や 5.1ch 収録など同じ音楽コンテンツを複数の様式を予定している。

なお、「HDD オーディオプレーヤーへの転送や CD-R コピーを可能にする新しい DRM 技術が開発されれば、新技術の導入も積極的に検討していく。今後も著作権侵害およびこれに類する行為には、法的手段を含め断固とした対応を行なっていく」ともコメントしている。

(9/17)

米 Yahoo!、米 Musicmatch を 1 億 6,000 万ドルで買収

米 Yahoo!は、音楽配信サービスとソフトウェア開発企業の米 Musicmatch を買収すると発表した。買収は約 1 億 6,000 万ドルの現金で行なわれ、Musicmatch は Yahoo!の完全子会社になる。

Musicmatch 社は 1997 年に設立されたデジタル音楽を手掛ける企業。同社が提供する製品やサービスには、デジタル音楽管理ソフトウェア「Musicmatch Jukebox」、無償のインターネットのラジオサービス「Musicmatch Radio」、音楽配信サービス「Musicmatch Music Store」、音楽ストリーミングサービス「Musicmatch On Demand」などがある。

Musicmatch Music Store では、現時点で約 70 万曲がダウンロード販売されている。さらに最近になって、購読制のストリーミング配信サービスを開始。友人に楽曲情報を送信して友人がストリーミングでそれを聴くことにより、音楽を合法的に“共有”するというアイデアを世に送り出している。

(9/15)

8 月末時点の DSL 加入者数発表、伸び率は減少傾向

総務省から 2004 年 8 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 12,549,066 で、これは前月末の 1.8%増。増加率は前月から 0.3%のマイナス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 4,655,698 となった。他事業者経由の DSL 加入者が残りの 7,893,368。NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 37.1%と前月から 0.1%のプラス。

(9/10)

ソニー、転送速度 10MB/sec の高速版メモリスティック PRO を追加

ソニーは、転送速度を向上したメモリスティック PRO(High Speed)およびメモリスティック PRO Duo(High Speed)を 2004 年 10 月 8 日より順次発売すると発表した。

メモリスティック PRO(High Speed)およびメモリスティック PRO Duo(High Speed)は、実測時で 10MB/sec(80Mbps)の書き込み/読み込み速度を実現、従来モデルと比較して約 2 倍の転送速度を実現したとしている。

高速読み込みにはパラレルデータ転送対応機器が必要で、基本的には従来のメモリスティック PRO 機器で動作するが、詳細な対応機器については 2004 年 10 月より同社ホームページで公開される予定。

また、動作保証温度が従来の 0 度 C ~ 60 度 C から、-25 度 C ~ 85 度 C に向上し、より過酷な環境への対応が可能になった。

メモリスティック PRO(High Speed)は、容量 2GB の「MSX-2GN」が 2004 年 11 月 26 日より、容量 1GB の「MSX-1GN」、容量 512MB の「MSX-512N」、容量 256MB の「MSX-256N」の 3 モデルが 2004 年 10 月 8 日より発売される。

メモリスティック PRO Duo(High Speed)は、容量 1GB の「MSX-M1GN」が 2004 年 11 月 26 日より、容量 512MB の「MSX-M512N」、容量 256MB の「MSX-M256N」の 2 モデルが 2004 年 10 月 8 日より発売される。

なお、従来のメモリスティック PRO/PRO Duo と同様の転送速度で、動作保証温度を -25 度 C ~ 85 度 C に向上したモデルも用意される。価格はいずれもオープン。

(9/10)

Intel など、小型 HDD 用に携帯家電向けインターフェイスを開発へ

Intel、Hitachi Global Storage Technologies (HGST)、Marvell Semiconductor、Seagate Technology、Toshiba America Information Systems の各社は、超小型ハードディスク用の新しいインターフェイス「CE-ATA」の仕様を策定する新しいイニシアチブを立ち上げたと発表した。

CE-ATA は、ハードディスク インターフェイス規格「Advanced Technology Attachment」(ATA) から派生したもので、PC やサーバに接続する多くのハンドヘルド機器を対象としている。

CE-ATA は、携帯端末や携帯型デジタル家電市場に求められる、コスト効果に優れた高度な実装と最適な電力効率に重点を置き、少ないピン数、低電圧、電力効率、コスト効率、実装効率といった要件が検討されている。

この仕様は、2005 年上半期に策定される予定で、この技術に準拠した最初の製品は、策定から数ヶ月内に市場に投入される見込み。

(9/10)

有線ブロード、光ファイバサービス契約数、30 万件を突破

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス)について、2004 年 8 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が前月比 16,340 増の 300,141 件、回線が開通している取付数が前月比 10,217 増の 182,755 件となった。取付数が単月で 1 万件を越えたのは初めて。

なお、取付数の内訳では、戸建てが前月比 4 減の 8,543 件、集合住宅が前月比 9,368 増の 160,808 件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比 853 増の 13,404 件となっている。

同様に、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 4.68 (集合住宅 6.07、法人用途のオフィス・商業ビル 1.25)、集合住宅取付棟数は前月比 1,276 増の 37,224 (集合住宅 26,509、法人用途のオフィス・商業ビル 10,715)となっている。

(9/9)

RealNetworks の半額キャンペーンが終了、300 万曲以上を販売

米 RealNetworks は、音楽ダウンロード販売サイト「RealPlayer Music Store」で行った 3 週間の半額キャンペーンで、300 万曲以上を販売したと発表した。

このセールは、同社の DRM 変換技術「Harmony」テクノロジーの提供に合わせた「Freedom of Choice

(選択の自由)、キャンペーンの一環として行なわれたもの。

今後も特に人気の高い楽曲の一部について、1曲49セントでのダウンロード販売を続ける方針としている。

次のステップとして、同社は Harmony 技術を年内に Rhapsody サービスに統合し、同サービスの会員は提供される楽曲を各種の携帯プレーヤーに転送できるようにする。

(9/9)

Rio, MP3/WMA プレーヤー「SU10」に大容量モデルを追加

Rio Japan は、USB 端子を装備したポータブルシリコンオーディオプレーヤー「SU10」の大容量モデルを追加発売すると発表した。

Rio SU10 は、従来は 128MB モデルのみだったが、新たに 256MB/512MB/1GB モデルが追加された。

ブラック/ブルー/レッドの 3 色のカラーバリエーションを用意。大容量化に伴い、新たにフォルダナビゲーション機能を追加し、フォルダによる管理に対応している。

内蔵メモリとフォルダナビゲーション以外の仕様は従来モデルと共通で、再生フォーマットは WMA/MP3/WAV に対応し、WMA DRM もサポートする。

6 種類のプリセットイコライザを内蔵。EL ブルーバックライト付きの液晶ディスプレイを備え、ID3 タグの日本語表示にも対応する。ADPCM 形式でのボイスレコーディング機能も装備している。

USB 2.0 に対応し、USB ストレージクラスのストレージとして利用できる。電池は単 4 電池 1 本で、連続駆動時間は約 18 時間。外形寸法は 91 × 29 × 17mm (縦 × 横 × 厚さ)。重量は 31g (本体のみ)。

フォルダナビゲーション機能について 128MB の従来モデルでは、後日ファームウェアアップデートにより対応するとしている。

2004 年 10 月中旬より順次発売となり、価格はオプション。

(9/6)

BB ケーブル、ブロードバンド回線利用の音楽放送サービス計画を発表

Yahoo! BB 会員向けの映像配信サービス「BBTV」を運営するビー・ビー・ケーブル(BB ケーブル)は、総務省関東総合通信局に対して有線ラジオ放送業務開始届を提出、受理されたと発表した。

今回の届け出は、有線ラジオ放送業務の運用の規正に関する法律第三条の規定に基づいて提出されたもの。

これを受けて同社では、2004 年秋をめどに有線ラジオ放送サービスの提供を開始する予定。

主なサービスとしてブロードバンド回線を利用した音楽放送サービスを、業務用 BGM 用途で飲食店、小売店、小規模オフィスなど法人ユーザーに対して販売していくという。

なお、料金など具体的なサービス詳細については追って発表するとしている。

(9/6)

米 Microsoft、携帯プレーヤー「Portable Media Center」を発表

米 Microsoft は、Windows Mobile を搭載した携帯マルチメディアプレーヤー「Portable Media Center」の初の製品が、Creative Labs から米国内で発売されると発表した。

Portable Media Center は音楽や画像のほか、ビデオ、録画済みのテレビ番組といったデジタルメディアコンテンツを、PC から転送して再生できる。

Creative の「Zen Portable Media Center」は 20G バイトの HDD を搭載し、3.8 インチ液晶を搭載したポータブルメディアプレーヤー。Windows Mobile based Portable Media Centers に対応する最初の製品。価格は 499.99 ドル。

再生可能な形式は JPEG、MP3、WMA、WMV。Windows XP 搭載 PC から Windows Media Player 10 の Auto Sync を利用して、ビデオ/オーディオ/写真データなどを転送できる。なお、日本での発売は未定。

このほか Samsung Electronics と iRiver International も、この秋に Portable Media Center

を投入予定。

コンテンツは、大リーグの公式サイトを運営する MLB Advanced Media (MLB.com)、およびオンラインムービーストア CinemaNow が Portable Media Center 向けの配信を計画している。

MLB Advanced Media のサービスは、大リーグの試合について試合中継、ハイライト、NG 集、ホームラン特集、過去の名勝負などのコンテンツをダウンロード提供する。

CinemaNow 社は 1 本の映画をペイ・パー・ビュー方式のレンタル価格 2.99 ~ 3.99 ドル、または繰り返し再生可能なダウンロード価格 9.99 ~ 14.99 ドルで提供する。

(9/3)

米 Microsoft、Windows Media Player 10 の正式版を発表

米 Microsoft は 2004 年 9 月 2 日より、マルチメディアソフトウェア「Windows Media Player」の最新バージョン「Windows Media Player 10」を公開した。対応 OS は Windows XP。

Windows Media Player 10 では、インターフェースの改善が図られており、上部に Library/Rip/Burn/Sync/Guide などの機能ごとのナビゲーションボタンが追加され、各機能に 1 ボタンでアクセス可能となった。音楽や映像、テレビ録画番組などの管理も行なえる。

また、Digital Media Mall と呼ばれるコンテンツ配信サイトへのアクセス機能が追加され、音楽配信の Napster や Musicmatch、MusicNow や映像配信の CinemaNow などに Media Player 内から直接アクセスできるようになっている。

著作権保護機能もアップデートされ「Windows Media Digital Rights Management 10」を搭載。HDD オーディオプレーヤーなど 70 以上のデジタルデバイスとの連携機能も備えている。

また、従来の WMA に加え、新たに MP3 形式でのリッピング機能も標準で搭載。ビットレートは 128kbps ~ 320kbps までの範囲で選択できる。

英語版とフランス語版が 2004 年 9 月 2 日より公開され、日本語を含む他の地域については今秋公開としている。

なお、Microsoft 自身も WMP10 の公開に合わせて音楽配信サービス「MSN Music」のプレビューサイトを開設し、50 万曲以上をラインナップする。販売価格は 1 曲 99 セント。

(9/3)

米 Apple、iTunes Music Store でアフィリエイトプログラム開始

米 Apple は、iTunes Music Store でアフィリエイトプログラムを開始したと発表した。音楽ダウンロード販売サイトでアフィリエイトプログラムを提供するのはこれが初めてだとしている。

Web サイトの運営者が、iTunes Music Store で販売している楽曲やアルバムへのリンクを自分のサイト内に設けることで、実際にそのリンクを通じて売上がった場合に 5% を報酬としてもらうことができる。

プログラムには企業や個人を問わず、Web サイトを運営していれば参加できるが、暴力的な内容のサイトや知的財産権を侵害しているサイトなどは審査により対象外となる。

なお、iTunes Music Store は現在、米国、英国、フランス、ドイツのみサービスを提供しているが、アフィリエイトプログラムにはこれら 4 国以外の Web サイトでも申し込める。報酬は、月末時点で 25 ドル以上貯まっている場合に小切手で支払われ、25 ドル未満の場合は翌月以降に持ち越しとなる。

(9/2)

米 MSN、1 曲 99 セントの音楽配信サービス開始

米 Microsoft は、有料での音楽配信サービス「MSN Music」のプレビュー版を米国向けに開始したと発表した。MSN Music の Web サイトを通じて利用できるほか、2004 年 9 月 2 日に正式版がリリースされる「Windows Media Player 10」からも直接、楽曲の購入などが可能。

音声圧縮形式は Windows Media Audio (WMA) で、ビットレートは平均 160kbps。当初は 50 万曲以上をラインナップしており、価格は 1 曲 99 セント。

MSN Music では、EMI や Sony BMG、Universal、Warner などの大手レコード会社や 3,000 以上のインディーズレーベルから 100 万曲以上の楽曲についてライセンス提供を受けており、毎週楽曲を追加して

いくとしている。1 曲単位での購入だけでなく、アルバム形式での購入も可能。

購入した楽曲は、Windows Media Player 10 を利用して 5 台の PC で再生できるほか、最大 7 回まで CD に記録することが可能。さらに、Creative Technologies の「Muvo TX」、「Rio Carbon」、「Dell Digital Jukebox」など Windows Media 互換の 70 種類以上のポータブルプレーヤーにも対応する。

MSN Music で販売する楽曲は、アーティストやジャンルなどから検索可能。インテリジェントサーチエンジンにより、つづりの間違いも自動修正される。他のユーザーが書いたレビューやお薦めの楽曲についての情報を参照しながら探すことも可能となっている。

さらに、ストリーミング放送の「MSN Radio」とも連動。MSN Music が提供する無料の放送を聴きながら、気に入った曲がワンクリックでダウンロード購入できる。

(9/2)

日立 GST、家電向けに 1.8 インチ HDD を発表

日立グローバルストレージテクノロジーズ（日立 GST）は、情報家電向けの 1.8 インチ HDD 「Travelstar C4K60 シリーズ」を発表した。

Travelstar C4K60 シリーズは、情報家電に広く利用されている Zero Insertion Force (ZIF) コネクタをインターフェイスコネクタに採用。従来のモバイル向け HDD が採用する 50 ピンコネクタ (48mm 幅) に対して、ZIF は 40 ピン (22mm 幅) のフレキシブルケーブルに対応し、小型が可能となっている。

記録密度は最大 99.8Gbit/平方インチで、ディスク 1 枚の最大容量は 30GB。製品には容量 30GB と 20GB のモデルが用意される。ディスク回転数は 4,200rpm。平均シークタイムは 15ms、平均待ち時間は 7.1ms。バッファ容量は 2MB。インターフェイスは ATA-6。

モバイル向け HDD で重要な耐衝撃性は、動作時が 500G、非動作時が 1,200G となっている。動作音は、アイドル時 1.6B、シーク時 2.2B に抑えられ、携帯オーディオ機器に有用としている。

また、アイドル、リード、スタンバイモードといった動作モードごとに消費電力の最適化を行なっている。3.7V、2,000mAh のリチウムイオンバッテリーを使用し、

48kbps のデータをポータブルオーディオ機器で連続再生する場合、約 32 時間相当の動作時間が得られるとしている。

消費電力は最大 1.4W、平均 0.4W。本体サイズは 54×70×7mm (幅×奥行き×高さ)。

(9/2)

クリエイティブ、FM ラジオ内蔵プレーヤーの 512MB 版を発表

クリエイティブメディアは、FM チューナ内蔵の MP3/WMA プレーヤー「MuVo TX FM」の 512MB モデル「CNMVT512F」を 2004 年 9 月下旬より発売すると発表した。

「MuVo TX FM」は、バッテリーバックとフラッシュメモリの 2 ビース構成の FM チューナ内蔵 MP3/WMA オーディオプレーヤー。従来モデルからの変更点は、メモリ容量のほか、バッテリーバックのカラーにブラックを採用している。

そのほかの仕様は従来モデルと共通。USB メモリ部のカラーはブラックで、ストレージ対応の USB ストレージとして利用可能。PC 上の WMA/MP3 ファイルをドラッグ&ドロップで USB メモリ部にコピーして、バッテリー部を組み合わせることで再生できる。

USB メモリ部には液晶ディスプレイを搭載し、ファイル名や ID3 タグの日本語表示に対応する。MP3 (32 ~ 320kbps) /WMA (64 ~ 160kbps) の再生に対応するほか、著作権保護機能 (DRM) 付きの WMA の再生もサポートしている。

FM ラジオの再生のほか、ADPCM 形式での FM 録音にも対応。また、ボイスレコーディング機能も備えている。バッテリーは単 4 乾電池で連続再生時間は約 15 時間 (MP3 再生時)。

外形寸法は 36.7×16×74mm (幅×奥行き×高さ)、重量は約 43g (電池搭載時)。リップング/ジュークボックスソフト「Creative MediaSource」や、ステレオイヤホン、ネックストラップなどが付属する。

また、7mm 厚のカード型 MP3/WMA プレーヤー「MuVo Slim 256MB」(CNMVS256) のカラーバリエーションモデルも 2004 年 9 月中旬より発売される。

MuVo Slim は、薄さ 7mm の本体に、MP3/WMA プレーヤー、FM チューナ、ボイス録音用マイクを内蔵したポータブルプレーヤー。新たにブルー (-BL)、シル

パー(-S)、ホワイト(-W)、ダークブルー(-DB)、ピンク(-P)、ライトグリーン(-LG)、ライトパープル(-LP)の7色が追加され、従来のブラックとあわせ、計8色のラインナップとなった。

価格はいずれもオープン。

(9/1)

アダプタのほか、USB 経由での充電にも対応。充電時間はACアダプタ利用時約3時間、USB接続時で約5時間。バッテリー駆動時間は約14時間。再生/停止などの基本操作が行なえるリモコンが付属する。

外形寸法は約67×20×66.5mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約103g。価格はオープン。

(9/1)

クリエイティブ、5色の5GB HDD プレーヤー「MuVo2 FM」を発表

クリエイティブメディアは、1インチ HDD オーディオプレーヤー「NOMAD MuVo2(ノマド ミューボ スクウェア)」の新モデルとして、5色のカラーバリエーションを用意した「MuVo2 FM 5GB」を2004年9月下旬より発売すると発表した。

MuVo2 FM 5GBは、5GB HDDを搭載した1インチ HDD オーディオプレーヤー。ホワイト(CMV2F5G-W)/ブラック(CMV2F5G-BK)/ブルー(CMV2F5G-BL)/グリーン(CMV2F5G-G)/ピンク(CMV2F5G-P)の5色のカラーバリエーションを用意した。

従来モデルからの変更点は、ボディカラーや HDD 容量に加え、操作ボタンをスティックタイプとしたこと。また、新たに FM チューナを内蔵したほか、内蔵マイクによるボイスレコーディングにも対応。IMA ADPCM 形式での録音は FM 録音時にステレオ、内蔵マイク録音時にはモノラルとなる。

そのほかの仕様は従来モデルと同様。液晶ディスプレイの解像度は132×32ドットでバックライト付きで日本語表示に対応。WMA/MP3/WAVの再生に対応し、対応ビットレートは、WMA が64～192kbps、MP3 が32～320kbps、SN比は98dB、ヘッドフォン出力は15mW×2ch(32)。

イコライザは、ROCK/POPなど4モードのプリセットのほか、カスタム設定も可能。パソコンとのインターフェイスはUSB 2.0、USB ストレージクラスに対応し、音楽データも直接ドラッグ&ドロップで転送できる。

また、付属の「Creative MediaSource」からのオーディオデータ転送も行なえる。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。ミュージックファイルの購入からダウンロード、ポータブルプレーヤーへの転送までをシームレスに行える Excite MusicStore の専用プログラムも提供される。

バッテリーは着脱可能なリチウムイオンバッテリーで、AC

EMD Magazine 第38号

発行 2005年1月29日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース